

平成25年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 ReSURE

1 事業の成果

平成25年度（第3期）は、埼玉に移転して1年目にあたり、主として事業基盤の整備に費やした（組織の活動基盤の確立、地域の関連諸団体との連携、新会員の親睦等）。

一方、年度後半からは、次年度の活動に向けた諸々の準備を開始した。当面の活動目標として、(1)地域における木質バイオマスによるエネルギー地産地消の普及活動（第1分野）、(2)サイクレーゼ事業（女性を対象にしたレンタサイクル周遊事業）（第2分野）、(3)地域交流拠点の整備と交流事業（第3分野）の3つを掲げ、それぞれの事業計画の為の調査を開始し、助成金の申請も行った。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

【第1分野】

① 独立行政法人環境再生保全機構の平成26年度助成金申請

- ・同法人の地球環境基金助成金の申請を、平成26年2月12日に行った。（添付資料あり）
- ・申請枠は「入門助成」で、対象となる活動は「環境保全に資する活動」及び「地域に根ざした活動」で、年間助成金額：50万円～300万円である。
- ・活動内容は、
 - i 間伐材を丸太又は薪に加工し、地域のハウス農家に新たに設置する丸太・薪兼用薪ボイラーに供給し、暖房エネルギーとする。
 - ii 地域の雑木林を間伐することで森林の育成を行う。
 - iii 間伐作業に地元の青少年を参加させることで、CO2削減、地域のエネルギー循環等についての意識を高める、というものである（詳細別紙）。
- ・書類審査の結果は、4月中旬に発表の予定。
 - ② 上記申請の活動内容にかかわる、**連携団体との協議の実施**
- ・里山の間伐と間伐材の加工に関して、比企郡のときがわ町と小川町で活動中のNPO2団体と連携の方法について協議した（平成25年12月8日NPO 森臨態、平成26年1月8日NPOときがわ山里文化研究所）。主な課題は、(1)間伐人材の確保、(2)間伐材の乾燥・保管スペースの確保。(3)ランニングコストの捻出、(4)パイロット事業の為の初期費用（丸太・薪兼用薪ボイラー導入費、テスト運転用の丸太・薪材の購入費等）であった。このうち(4)を助成金で充当し、(1)～(3)は事業化の為の課題として、パイロット事業で検証してゆくこととした。
- ・丸太・薪兼用薪ボイラーは、平成24年度（第1期）事業で知り合った、釜石の薪ストーブメーカー石村工業㈱の製品「ごろん太」を導入することで決定し、同社から過去の導入事例に関する資料提供を受けた。
- ・地域のハウス農家への導入は、助成金事業による試験導入への協力要請と、事業化段階における営業とを切り分け、前者については自治体の斡旋協力を受けることにした。後者については、パイロット事業の成果を基に、営業資料を作成することとした。

【第2分野】サイクレーゼ事業（★レンタル事業部分は「その他の事業」に含まれる）

- ① 事業計画策定準備のため、マーケットリサーチとそれに基づく事業コンセプト

協議を実施（平成 26 年 1 月 29 日開催の理事会）。その結果、社会的意義がありかつ事業性もあるとの認識で全員一致したため、モニタリングのための自転車を 1 台購入することと、事業計画案の作成を代表理事に一任した。

- ② モニタリングのための自転車（ミニベロ）付属品込み 55,000 円をサンプル（勘定科目：備品）として購入した。（平成 26 年 2 月 19 日）
- ③ 比企郡の吉見、滑川、ときがわ地域を試験走破（同 2 月 23 日～3 月末）
- ④ サイクレーゼ事業計画 Ver0.1 作成（3 月 31 日）（添付資料あり）

【第 3 分野】

- ① 前述 2 (1)① iii の里山の間伐への青少年の参加を促す動機付けとして、間伐材で作った薪の薪割りと、薪釜を使った火起こし、ピザ焼き体験を組み合わせた体験イベントを実施する交流拠点について、代表理事の地元ネットワークの人々と話し合った。
- ② 候補地 1：東松山市唐子の旧レストラン「天の園」／室田邸。室田邸と隣接する都幾川沿いの林は、地主から間伐の許可を得ており、室田夫妻も子供たちのための自然教室のようなものを開催したいという希望を持っているので、可能性はある。ただ NPO との連携には慎重で、かつ資金手当ての問題もあるので、じっくりと信頼関係を作っていくことが望ましい。
- ③ 候補地 2：平成 26 年 3 月現在、吉見町長谷の当法人事務所（代表理事居宅）から南に 100 メートルほどの T 邸が売りに出ており、代表理事の知人で吉見町に開所のミッションを持って 3 年前に転居してきた、浄土真宗の住職（福井誠氏）が購入する意向とのこと。敷地面積は 2300 m² 以上あり、母屋と移設した古民家、庭、納屋、畑などがあり、住職も本来の寺の役割である、地域の人々のつながりの場にしたいという考えを持っている。

福井氏と協議の結果、i) 福井氏は ReSURE の活動に賛同し、正会員となることを申し出た。次年度早々に正式に入会する見通しである。ii) 古民家の改築費用に関して、埼玉県助成金の申請（元気なまちづくり助成）を行うかどうか検討することにした。助成金の申請を契機に、ReSURE と寺との協力関係の在り方を具体的に議論しようということになった。

(2) その他の事業 特に無し

以上